

ホースの取り扱いについて

商品のご使用前に必ずお読み下さい。

(1)はじめに

ゴムホースを安全にご使用頂く為に、ホースの取り扱いについての注意事項を以下にまとめましたので、必ずお守り下さい。

なお、この説明書の中で **⚠️ 危険** **⚠️ 警告** **⚠️ 注意** については、次の危険状況を意味します。

⚠️ 危険 死亡または重傷を負う危険が切迫している状況

⚠️ 警告 死亡または重傷を負う可能性がある危険状況

⚠️ 注意 軽傷または中程度の傷害を負う可能性がある危険状況および物的損害の発生のみが予想される危険状況

(2)ホースの保管について

⚠️ 注意

- ①ホースは出来るだけ湿度の低い冷暗所に保管し直射日光の当たるような場所は避けて下さい。
- ②ホースの運搬や保管作業に際しては、ホースを傷つけないように、又、汚さないように注意して下さい。
- ③ホースは埃を被らない様に、又、ホース内にチリ・ゴミ等が入らない様にして下さい。
また付着した場合は速やかに拭き取って下さい。
- ④ホースの使用後は、内部の残留物を除去して下さい。(特に油・溶剤等)
- ⑤ホースの上には重量物を置かないで下さい。又、ホースは大量に積み重ねないで下さい。
- ⑥ホースを極端に曲げた状態で保管しないで下さい。
ホースは捻じれないように許容曲げ半径以上に巻き、平らな所に保管して下さい。
- ⑦ホースは物の角に当たった状態で保管しないで下さい。
- ⑧ホースは先入れ・先出しを実施し、出来るだけ早めにご使用下さい。

(3)ホース使用時の注意事項

⚠️ 危険

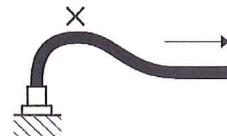
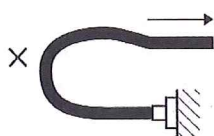
- ①炎が直接触れる可能性がある場所では絶対に使用しないで下さい。
- ②圧力が加わったまま、又、流体を通したまま引抜いたり、切ったり、突いたり絶対にしないで下さい。

⚠️ 警告

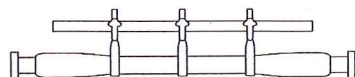
- ③ホースの選定にあたっては、使用流体・濃度・温度・圧力を十分に確認してカタログ記載の仕様範囲で使用して下さい。
特に温度の高い流体、油や酸をご使用の場合は注意し規定以上の圧力を入れると製品が破損し、身体に重大な損傷を負う危険があります。

⚠️ 注意

- ④ホースは許容曲げ半径以下で使用しないで下さい。
- ⑤ホースは内圧により伸縮しますので、たるみを持たせて配管して下さい。
- ⑥ホースをロープ代りに使用しないで下さい。又、取付け後に取付け位置が移動するような場合が予想される時は、ホースに引張りが掛からないよう、十分なたるみを持たせて取付けて下さい。
- ⑦ゴムホースには特有のにおいがあります。食品用途に使用する場合は事前に確認をして下さい。
- ⑦伸び縮み・振動・繰返し動作等でホースに擦れが生じる場合には、その部分を十分に保護して下さい。
- ⑧ホースはねじれたままの状態で使用しないで下さい。一般にホースはねじれたままで使用すると圧力に耐える力も低下し、自然な状態に戻ろうとして口金具のところに無理がかかります。
- ⑨取付け状態からの無理な動きはホースを破損させる原因となりますので、注意して下さい。



- ⑩ホースは車輛等で踏まない様にして下さい。
- ⑪リールに巻かれていないホースを引張る場合は、必ず振れを取りながらほどこいて下さい。
- ⑫荷台等から降ろしたりする場合、投げないで下さい。
- ⑬重いホースをクレーン等で吊り上げる場合は、1点吊をせず
多点支持による吊り上げ方法を取って下さい。
尚、吊り上げにはナイロンスリング等を用いて下さい。



ホース長さ	支持点
5.0m以下	2点以上
5.1~7.0m	3点以上
7.1~10.0m	4点以上
10.1~15.0m	5点以上
15.1~20.0m	6点以上

(4)保守管理

⚠️ 警告

- ①日常使用の都度、又は週1度はホースの外観状態の点検を行って下さい。
- ②次のような異常が認められた場合には、直ちに新品のホース・金具と取り替える等の処置をして下さい。
* 口金具の取付状態・縮付状態・バンドの緩み等の異常がないか。
* 口金具部分からの流体漏れがないか。
* ホース外面に補強層へ達するひび割れ・外傷・摩耗及び、膨れがないか。
* ホースが押しつぶされたり、変形したり、折れていないか。